やる気発生装置

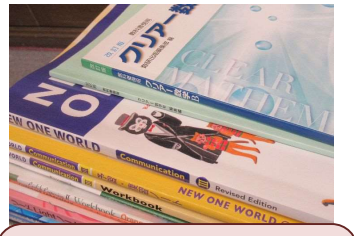
教室通信 Vol.２５７０
Ｒ６．３．２１
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

高校の授業に寄り添う塾であるために

新年度の当塾、だいぶ高校生比率が大きくなりそうです。これは当塾に限ったことではなく一般的な話ですが、中学生と高校生とでは、「塾」というものが持つ意味合いが少し変化します。どういうことかと言うと、高校では学校やコースによって勉強する教科やテキスト、レベルなどが全く違うため、通常、塾が学校の授業に合わせた指導をするのが難しいのです。そこで、高校生向けの塾では独自のテキストを用意し、学校の進度とは一旦切り離した形で授業をします。すると、受験指導を熱心にしている高校では学校自体で授業準備や課題に追われるため、両立がかなり大変になります。定期テスト前などは学校優先にならざるを得ません。僕が知っている大手予備校では、定期テスト期間は４割近くの生徒が定期テスト対策のために塾の授業を休んでいるような状況です。そもそも学校とは独立してカリキュラムを組んでいるので、その日の授業は空白のまま終わってしまうことになります。こういう話をすると他の塾の欠点をほじくるような事になるので僕としては気が引けるのですが、これが一般的な「高校生の塾通い」の現実です。当塾は、定期テスト期間に休まないといけない塾ではなく、むしろテスト前にこそ力になれるような塾でありたいと思っています。学校と塾とで足を引っ張り合うようなことは本来あるべき姿ではないですからね。幸い、その路線で長年続けてくることができました。

高校生が、学校の状況に合わせて勉強できる塾として機能するためには、必要な条件があります。それは、学校の授業の進み具合が僕たちと共有できていることです。中学生については、今授業でこの辺をやっているだろう、とある程度見当がつきますが、高校ではそうはいきません。どんな教材を使って何をやっているか、正確に伝えてもらえればもらえるほど、きめ細かな対応が可能になります。新高１生～高３生はいま新年度の教科書や教材類を購入している時期で、多くの人が学校で配布された教材のリストを持ってきてくれています。教材を購入したけれど４月に使い始めるまでまだ間がある、という人は、一度教室に持ってきていただけたら大変助かります。例年、この時期に、床が抜けそうなほどの教材類に目を通しながら新学期準備をしています。今年も、そうやってベストの新学期を迎えられたらと思っています。

今朝は、春分を過ぎた３月下旬の京都とは思えない雪景色でした。春は待ち遠しいですが、寒さに震えつつも正直ちょっとワクワクしました。



高校の教材や授業進度、学ぶ教科そのものに至るまで、学校やコースによってかなりの違いがあります。それに対応する数少ない塾であるためには、生徒さん自身の協力が欠かせません。

当面の教室予定

3/21(木)～3/22(金)
１６：００～２２：００
3/23(土)
１６：００～２１：００
3/24(日)
お休みです m(_ _)m
3/25(月)～3/29(金)
１０：００～１２：００
１６：００～２２：００

※21 時以降、教室に生徒が残っていない場合には閉室させて頂きます。
※天候や各種感染症の状況等により、変更させて頂く場合があります。